

地域定着へのステップイメージ

出典：PERSOL Global Workforce 株式会社

資料 6

外国人材が少ない地域では、地域住民の不安やそこから来る軋轢により問題が生じる可能性があるため、相互理解と共存を深められる施策として、下記の3段階に分けて定着施策・取り組みを実施が望ましい。

STEP 1 認知

地域に外国人材が入ったことを知ってもらう
(労働力ではなく人として)

- ・ 地域広報誌への情報掲載
- ・ 来日時に地域拠点への表敬訪問
- ・ 地域コミュニティへの挨拶

STEP 2 理解

双方の文化に違いがあることを認識し、理解する

- ・ 相互の文化発表会の開催
- ・ 語学交流会の開催
- ・ 日本語スピーチコンテストの開催
- ・ 学校などでの文化理解教室

STEP 3 協働

地域のコミュニティメンバーとしてともに活動する

- ・ 地域のボランティアへの参加（清掃など）
- ・ 地域イベント運営への参加（祭りなど）
- ・ 外国人材の地域への提案の場の設置
(外国人材が住みやすい環境のための提案)

地域定着にむけて目指す状態

今後、外国人材は増えていく中でどのように地域に受け入れていくか、溶け込んでいける環境・きっかけを作っていくかが重要



■ 地域住民

「この誰だかわからない・・・」漠然とした不安
接することないからと興味関心が薄い

■ 外国人材

地域から認めてもらえない感覚、地域の人に話しかけるのが怖い

→ 一人の地域住民として認識してもらう



■ 地域住民

よく見かけるけど「どういう人なのかわからない・・・」不安
イベントに参加していても、敬遠してしまう

■ 外国人材

日本の文化を知る機会がなく不安、外国人として疎外感を持つ

→ 人間性を知ってもらい、興味・関心を持ってもらう



■ 地域住民

あくまでも外部の方と区別してしまう
地域の構成員としての認識をもてない

■ 外国人材

地域に愛着を持ってない、家と会社の往復以外の活動があまりない

→ 地域の構成員として、地域貢献や活躍してもらう